

地震マップ

地震マップでは、常陸太田市に影響があると考えられる、過去に発生した塩屋崎沖地震（昭和13年発生、マグニチュード7.8）を想定しています。ご自宅の周辺やよく行くところ、よく通るところなどについて揺れの強さを確かめておきましょう。

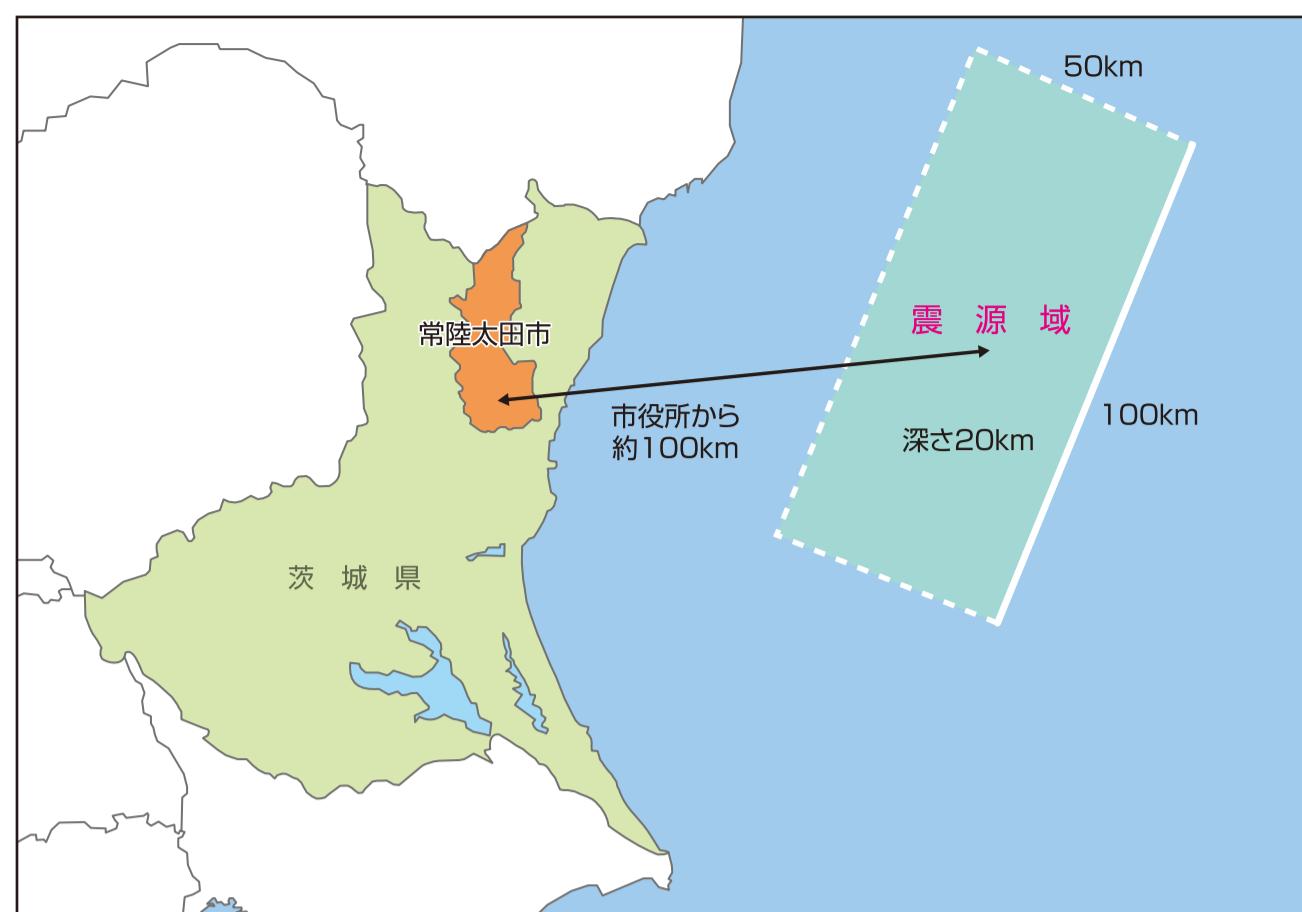
凡例

- 震度5弱
- 震度5強
- 震度6弱

※揺れの強さを示しています。



想定地震：塩屋崎沖地震



※茨城県内で発生するおそれがある大きな地震として、「茨城県南部地震」がありますが、震源が常陸太田市から遠く、地震による影響が小さくなると想定されるため、このマップでは塩屋崎沖地震を想定地震としています。

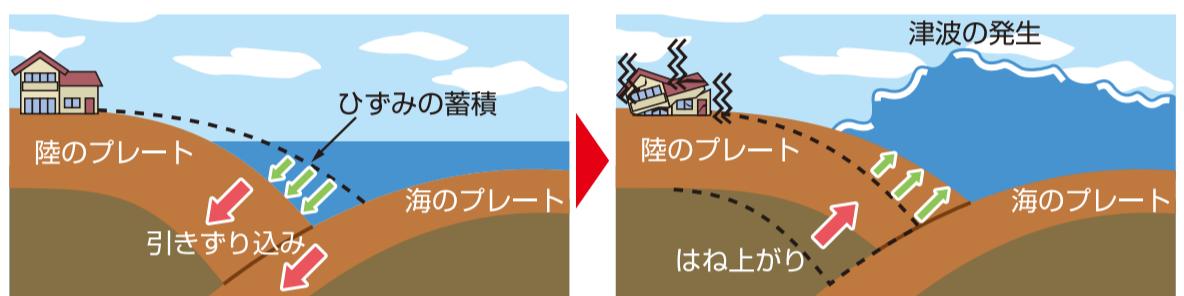
塩屋崎沖地震の起こるしくみ



日本は「陸側のプレート」と「海洋プレート」の境界に位置しており、地震が多く起きる地域です。地震の起こり方は、大きく、「海溝型地震」と「活断層で発生する地震」の2種類に分けられます。今回想定した塩屋崎沖地震は「海溝型地震」に含まれます。

海溝型地震とは

海洋プレートが陸側のプレートの下にもぐり込むときに、陸側のプレートの先端を引きずり込んでいきます。ある限界になると引きずり込まれた先端が元に戻ろうと跳ねて、地震が発生します。



震度とマグニチュード

地震のエネルギーの大きさを「マグニチュード」と呼び、地震の規模を示すときに用いられます。これに対して、ある場所での揺れの大きさを「震度」と呼びます。マグニチュードが大きな地震でも、震源が遠かったり深かったりすると、震度が小さくなります。



震度による状況(どのくらい揺れるの?)

震度階級	人はどう感じるの?	家の中はどうなるの?	家の外はどうなるの?
5 弱	<ul style="list-style-type: none"> 多くの人が身の安全を囲うとする。 一部の人は、行動に支障を感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> つり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。 倒れ、家具が移動することがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 窓ガラスが割れて落ちることがある。 電柱が揺れるのがわかる。 補強されていないブロック塀が崩れることがある。 道路に被害が生じることがある。
5 強	<ul style="list-style-type: none"> 非常に恐怖を感じる。 多くの人が、行動に支障を感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 棚にある食器類、書棚の本の多くが落ちる。 テレビが台から落ちることがある。 タンスなど重い家具が倒れることがある。 変形によりドアが開かなくなることがある。 一部の戸が外れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 補強されていないブロック塀の多くが崩れる。 据え付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。 多くの墓石が倒れる。 自動車の運転が困難となり、停止する車が多い。
6 弱	<ul style="list-style-type: none"> 立っていることが困難になる。 	<ul style="list-style-type: none"> 固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。 開かなくなるドアが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。

出典：気象庁震度階級関連解説表(平成8年2月)より一部抜粋および加筆



あなたの家も耐震診断を受けましょう

古い耐震基準の時期（昭和56年以前）に建てられた家や、壁が少ない家などは耐震性が低くなっていますので、心当たりのある方は、専門家による耐震診断を受けてください。

知って
いますか？

地震対策の基本として「わが家の耐震性向上」は欠かせません。耐震性の向上についてさまざまな支援策がありますのでぜひご相談ください。

詳しくは常陸太田市役所建設部都市計画課まで
TEL:0294-72-3111(代)